

2019年度 子育て支援センター（おひさまルームひじり）運営事業総括

【子育て支援センター運営事業】

《目的》

就学前児童とその保護者を対象に、子どもの人権尊重を基本に捉え、人と人とのつながりを通して様々なニーズに合わせた子育て支援を図る。

《内容》

子育て中の在宅の親子の居場所となり、子どもにとってはあそびの経験や他の子どもたちとの交流の場、保護者にとっては育児が孤立しないよう子育てについて話す場、他の保護者との交流・つながりの場、自分に合った子育てを学び合う場となるよう子育て支援を行う。

《主な事業内容》

I. 乳幼児やその保護者が自由に遊べる場の提供（オープンスペース）

- ・オープンスペース
- ・年齢限定オープンスペース（0,1歳児）

II. 乳幼児やその保護者の交流や学習の場の提供（プログラム）

- ・ベビーマッサージ（月1回）
- ・親子ふれあい遊び（年3回×2グループ）
- ・クリスマスを楽しもう！
- ・歯科衛生士のお話（年3回）
- ・1歳児集まれ！（年3回）
- ・幼稚園ってどんなところ?!（年1回）
- ・栄養士のお話（年2回）

III. 子育てサークル活動の支援

IV. 子育てに関する相談

V. 他機関との連携

VI. 子育てに関する情報の収集および提供

VII. 多世代交流イベントの実施

交流センターとのイベント

- ・稲ふれあいセンター祭り・七夕飾り・盆踊り・ひな飾り

ゆずの郷とのイベント

- ・チューリップ祭り・稲作り、稲刈り・流しそうめん・ハロウィン

センターご利用者のボランティア活動・その他

- ・かぶとを作ったよ・からふるコンサート・クリスマス
- ・絵本の読み聞かせ、ハーモニカ演奏・ロビーコンサート・ふれあいマーケット

【I. オープンスペース】

1. 実施概要

目的	核家族化・少子化・住環境の変化などにより家族関係や近隣関係が希薄になり、親同士が日常的に交流できる場や子供同士が一緒に遊ぶことのできる場が減少している。これに伴い、育児不安や孤立した子育てが問題となる中、下記の目的の場を提供する。							
	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が安心して遊ぶことのできる場 ・親子が他者と出会い・交流できる場 ・出会った親子が交流を深め、互いに成長していける場 ・子育てに対する知識をスタッフや他の利用者から得る場 ・子育て家庭の多様なニーズに応じた情報提供や相談に取り組む 							
	実施日時	オープンスペース実施	月	火	水	木	金	土
	10:00~12:00	○	※	休業	・子育てサークルデー ・臨時オープンスペース	○	○	
12:00~13:00	おべんとうひろば	おべんとうひろば	おべんとうひろば	おべんとうひろば	おべんとうひろば	おべんとうひろば		
13:00~16:00	○	○	日	※	○	○		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で自由に遊ぶ ・午前、午後終了前に手遊びや親子ふれあい遊びの紹介・絵本の読み聞かせ・ペープサート・パネルシアターなど ・※印：プログラム、年齢限定、臨時オープンスペース等を開催 							

2. 実施結果

《オープンスペース年間利用数》

年度別利用組数

	利用組数
2013年度	3,683組
2014年度	4,821組
2015年度	4,671組
2016年度	4,837組
2017年度	4,622組
2018年度	3,945組
2019年度	3,222組



年度別利用人数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
大人	5,024人	4,853人	4,983人	4,830人	4,091人	3,354人
子ども	5,494人	5,636人	6,168人	5,821人	4,879人	3,827人
合計	10,518人	10,489人	11,151人	10,651人	8,910人	7,181人

考察	<p>・今年度のオープンスペースは、ご利用者の要望に応じて、火曜日や木曜日のオープンスペースを増やしたため、昨年度より利用可能日数は5日増えたが、利用組数は約700組の減少となった。月別にみると、猛暑の7月・8月がそれぞれ約100組の減少、3月は新型コロナウイルス感染症の流行により、約200組の減少となった。3月は外出を控えられただけではなく、感染拡大を防止するために、利用制限を設けたことが要因である。また、7月より0歳児限定オープンスペースを月1回から2回へ、1歳児限定オープンスペースを隔月1回から月1回へと増やしたところ、利用数は多く、ニーズの高さが伺えるので、次年度も継続したい。昨年度から大幅な利用減が続いているが、これは、感染症だけではなく、保育所の増設に伴い、母親が仕事を始めたり、職場復帰をする家庭が増えたことや、習い事や遊び場の充実などが関係していると考えられる。</p>
----	---